

3361 トーエル

山中 正幸 (ヤマナカ マサユキ)

株式会社トーエル専務

## ライフラインパッケージでエネルギー完全自由化に対応

### ◆2016年4月期第2四半期トピックス

第1のトピックは、エネルギー全面自由化に向けた取組である。電力は4月から完全自由化となるが、当社はLPG業界としてどう対処すればよいかを半年間議論してきた。1つの対策は、電力の小売り事業に参入することであり、そのためにPPS(特定規模電気事業者)との業務提携を進めている。もう1つは光回線事業への参入で、大手との業務提携を同時並行で進めてきた。これにより、ガスと水と電気と通信をセットにし、ライフラインパッケージとしてサービスを提供していく計画である。

当社はガスと水を関東で50万世帯以上に供給しているが、この50万世帯に向けて電気小売りと通信のサービスを提供するだけでは力不足である。このため、当社と同じ立場にある同業者を集め、電力小売りに係る業務提携で協力し、大手PPSと交渉できるようにしてきた。現在のところ150万世帯分が供給できる同業者を募ることができた。PPSは選定し、契約もほぼ終了しているが、同業者と歩調を合わせるため年明けの発表を予定している。通信については、NTTのフレッツ光もパッケージに組み込むことで値引き幅を大きくできるようにする。これも契約の下準備がほぼ完了し、当社のコールセンターに専門のスタッフを配置した。

電気と通信を1月からスタートするにあたり、最大のポイントは事業化できるかどうかである。東京電力が発表した託送単価はキロ当たり8.88円で、もう少し下がれば料金を5%程度下げる原資ができると考えていたが下がらなかった。先日、改めて発表されたが、現在のところ8.57円で、しばらくはこれ以上下がることはないと思われる。当社が契約するPPSとの間で、これをベースにどこまで事業化できるかを現在試算している。

第2のトピックとして、ウォーター事業ではハワイ・モアナルア工場で12リットルのワンウェイボトルを開発し、来年1月から日本で発売する。当社は15年前より5ガロンボトルをハワイから輸入しているが、最近の競争力低下要因の1つであるボトルの重さを課題とし、2年前から新しい12リットルボトルのコストと強度を研究してきた。開発のメドが付き、今月からモアナルア工場に12リットルのラインを増設した。

第3のトピックは、水素水サーバーの販路拡大である。ボトルウォーター業界は大手企業も参入するなど競合先が増える中、当社は他社との差別化戦略として水素水サーバーを開発した。昨年9月から発売しているが、販売が進むにつれ、健康・美容・エイジングケアに大きな需要があることがわかってきた。当社がこだわるのは最大水素濃度3.4ppmである。この高い水素濃度が評価され、申込みが集中しているため、生産体制を強化して対応している。ボトルウォーター業界の市場は1,200億円の規模があるが、健康・美容・エイジングケアの市場は2~3兆円である。水素水は製薬会社や化粧品メーカーも研究しているが、商品として高い水素濃度を維持し続けるのは非常に難しい。このため、化粧品やサプリメントの市場開拓プロジェクトチームを立ち上げて取り組んでいる。

### ◆2016年4月期第2四半期決算

2013年からの輸入CP価格と為替を見ると、輸入CP価格が最も高かったのが2013年12月で1,100ドルであった。直近での安値は今年9月の315ドルであり、この2年間で1/3に下落した。この間、為替はおよそ90円から

今年 8 月には 125.20 円まで上がっている。当社の業績は、この 2 つの価格に常に影響を受ける。

当第 2 四半期の売上高は 104 億 32 百万円で、前年同期比で 11.8%減少した。これは輸入CP価格の下落に伴い、小売価格を下げたためである。営業利益は 4 億 45 百万円で同 7.8%減、経常利益は 5 億 9 百万円で同 6.2%減、当期純利益は 2 億 59 百万円で同 13.1%減となった。

貸借対照表では、10 月末の長短借入金が 24 億 60 百万円で、前年同期の 34 億円から 9 億円近く減少した。10 月末での現預金は 29 億 41 百万円で、借入金を上回っており、この結果、自己資本比率が 58.9%に上昇した。財務内容は改善しているが、今のところ大きな投資の計画はなく、電力自由化の大きなうねりの中で統廃合や M&A が予想され、最終的には資金が生き残りの力となるため、この財務状態を維持していきたいと考えている。

### ◆LP ガス事業について

ここ数年は、LP ガス事業で安定した収益を確保しながらウォーター事業で成長を図ってきた。国内のエネルギー動向としては、LP ガスを含めて民生エネルギー需要はほぼ横ばいであるが、LPガスは災害に強いエネルギーとして今後も重要なエネルギーの一つとなることを強みに顧客基盤の拡大を図り、収益をどのように維持・成長させるかが、当社にとって大きな課題である。

当社は 1 都 4 県で LP ガス事業を展開しており、供給密度が他社より高く、その分だけ物流コストに競争力がある。この強みを活かすべく、ここ数年は業務用の販売に集中してきた。販売数量は、5 年前の数字と比較すると業務用が 26%増、卸売は 3%増で、LPG の民生用の販売量合計は、業界傾向とは逆に 5 年前から 6%成長した。

業務用に力を入れてきた結果、当社は数年前から、CP に連動して販売価格を自動的にスライドする CP 連動価格を取り入れている。第 2 四半期においても CP の下落により販売価格を値下げしたが、この値下げ時期と売上原価の値下がり時期との間に期ズレが生じ、利益に影響がでた。

以上の結果、LP ガスセグメントの売上高は 73 億 86 百万円となり、前年同期比 16.1%減少した。営業利益は、2.7%減の 7 億 85 百万円であった。

### ◆ウォーター事業について

日本宅配水 & サーバー協会のデータによれば、2011 年の東日本大震災当時、宅配水の販売は前年比 25%増と大きく伸びた。その後も堅実に 3~5%成長を続けており、成長はまだ続くという見方が一般的である。当社のボトル販売本数は、東日本大震災の時に業界全体の 2 倍強に相当する 52%という高い伸びを示した。その中でも、ハワイウォーターは 70%増で、これは当社が関東中心に事業展開していることと、放射能の風評被害で日本の水が敬遠されたためである。しかし、その後、ハワイウォーターは 20%程度減少した。これは震災特需の反動とも考えられるが、一方でアルピナウォーターは 6%伸びており、詳細に分析した結果、ハワイウォーターは容器が 5 ガロンと重くて入れ替えしにくく、ハワイから輸入しているため物流コストがかさみ競争力が落ちているという結論に達した。円安もあり、このままでは成長が見込めないため、ハワイの自社工場・モアナルア工場で生産する軽量ワンウェイボトル Hawaiian Water12 リットルを投入し、競争力の向上を図る。

当社の主力商品はアルピナ 12 リットルであるが、リッター当たりの単価は 79 円で、水質と価格では絶対に他社に負けることがない。ハワイウォーター(18.9 リットル)はリッター当たり単価 121 円である。この Hawaiian Water12 リットルも単価 121 円とし、ハワイウォーターと同単価で出すことにした。ハワイのブランドには固定ファンが多く、この価格で十分に対抗できると考えている。

セグメント売上高はほぼ前年同期並みの 30 億 45 百万円であったが、利益面ではハワイウォーターの円安による為替差損の落ち込みをアルピナでカバーできず、前年同期比 17.8%減の 4 億 91 百万円となった。特に営業利益率は、前期の 19.7%から 16.1%に低下した。当社は OEM 生産を進めているが、OEM の比率が上がると利益率は下がってくる。しかし、工場の稼働率を上げ製造コストの低減を図るため今後も進めていきたい。また、人気の

高い高濃度水素水サーバーの広告・宣伝に注力し、ボトルウォーター市場のみならず健康・美容市場での顧客獲得を更に進めるとともに、Hawaiian Water12 リットルについても拡販を推進し、収益の向上を図っていく。

#### ◆2016年4月期通期計画

現時点では、期初に発表した計画を変更していない。売上高は、ほぼ前年並みを確保できると見ており、計画比では、CP 価格が安いと少しマイナスになる可能性があるが、計画を修正するほどではない。上期実績と下期計画を足し合わせると、売上高は 252 億 32 百万円で、通期計画 258 億円には若干ショートしている。営業利益も通期計画 18 億 40 百万円には 45 百万円ほど不足するが、これは下期で挽回可能である。たとえば水素水は、生産が立ち上がり年間 1 万台の取付販売が実現すると、ウォーター事業の成長を 10 ポイント押し上げる。

下期の重点的取組としては、エネルギーのベストミックスをさらに推進し、家庭用にはガスと太陽光発電と蓄電池を提案していく。現在、需要が旺盛になり工事が遅れているのがガスヒートポンプ(GHP)である。ガス単価がこれだけ下がると、インシヤルコストとランニングコストを足しても東京電力の料金に十分に勝てるようになってきており、これを下期に重点的に営業していく。水素水は、美容や健康食品のメーカーとの業務提携を検討している。

(平成 27 年 12 月 18 日・東京)

\* 当日の説明会資料は以下の HP アドレスから見ることができます。

<http://www.toell.co.jp/ir/material.html>